

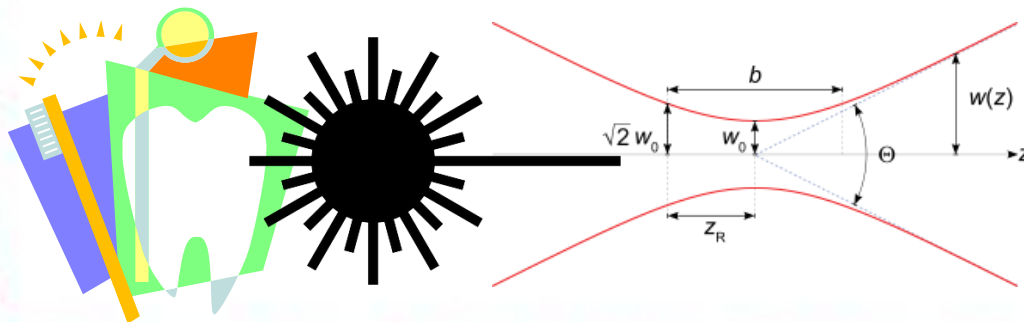
□は健康のもと Vol.195

レーザーで歯を削ると・・・

現代社会では日常生活に様々なレーザーが使われています。CDやDVDで音楽や映像を楽しむとき、ショッピング時にレジで会計をするときにバーコードを読み込むときにもレーザーを使用しています。医療現場では脱毛や近視改善の手術などに使用する機器にレーザーが使われています。

歯科治療でも虫歯を削ったり、口内炎の痛みを和らげるためにレーザーを使用した治療法が平成30年度から保険導入されました。今回は虫歯治療に用いるレーザーについてお話ししたいと思います。

歯科治療に使用されるレーザーには数種類ありますが、虫歯を削るためのレーザーはEr:YAG(エルビウム：ヤグ)レーザーといいます。このレーザーは水によく吸収される波長とほぼ一致するため、歯にレーザーを照射すると内部に含まれる水分が瞬間的に蒸気化して極小さな爆発に似た現象が起こり、歯の組織が除去されます。通常の歯を削る機械よりも振動や音がなく、浅い虫歯であれば局所麻酔も必要ありません。歯を削るスピードはこれまでの機械よりもゆっくりで多少時間がかかりますが、痛みのない治療法として近年注目されています。特に高血圧などの持病がある方で局所麻酔の使用に注意が必要な方にはお勧めです。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 佐藤 穂子

